



Nagoya City University Academic Repository

学位の種類	博士（薬科学）
報告番号	甲第1698号
学位記番号	第344号
氏名	張 伏子
授与年月日	平成31年3月25日
学位論文の題名	生薬キクカの PPAR γ アゴニスト作用とその活性成分の探索
論文審査担当者	主査： 樋口 恒彦 副査： 牧野 利明，大澤 匡弘，頭金 正博

氏 名	ちょう ふくし 張 伏子
学位の種類	博士（薬科学）
学位の番号	薬博第 344 号
学位授与の日付	平成 31 年 3 月 25 日
学位授与の条件	学位規則第 4 条第 1 項該当
学位論文題目	生薬キクカの PPAR γ アゴニスト作用とその活性成分の探索
論文審査委員	（主査）教授 樋口 恒彦 （副査）教授 牧野 利明・ 准教授 大澤 匡弘・ 教授 頭金 正博

論文内容の要旨

本論文は、生薬キクカから、ペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 (PPAR) γ アゴニスト活性を持つ化合物を探索したものである。*Chrysanthemum morifolium* 由来のキクカから (E)-tonghaosu を、*C. morifolium* 由来のキクカから、(-)-(E)-B-ring-homo-tonghaosu と (±)-(Z)-B-ring-homo-tonghaosu を得た。(-)-(E)-B-ring-homo-tonghaosu は比較的高い活性を持ち、今後の医薬品開発のリード化合物として利用できる可能性があった。

論文審査の結果の要旨

平成 31 年 1 月 10 日に論文内容に関する公開発表会を行い、博士論文原稿の提出後に論文内容に関して主査、副査による個別面談を行った。平成 31 年 2 月 25 日に個別面談での指摘事項への対応を含めて最終審査発表会として博士論文の口頭発表を行い、その後、発表内容に関して質疑応答を行った。以上の博士論文発表と質疑応答を踏まえて、最終試験担当者間で協議を行ったところ、本論文は、創薬科学において一定の評価が得られる研究成果である点で、博士（薬科学）の学位を授与するに値する論文であると判断した。